



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.6.25 No.20



○ 前期指導主事訪問

6月24日(木)、前期指導主事訪問がありました。指導主事訪問というのは、先生方の授業を教育委員会の指導主事に参観していただき、いろいろとアドバイスを受けるもので、前期と後期の年に2回行われます。今回は、町教育委員会から1人、県特別支援教育センターから2人の先生が指導に来られました。また、南条中学校の先生も、参観に来てくださいました。授業のあったクラスは、いつもと違う雰囲気、緊張したと思います。

【2年1組】 道徳科 『森のみんなと』 勤労・公共の精神

嵐が去った後、森の広場を片付けるのは疲れるから嫌だと思っていた主人公が、友人から「みんなと働いたら不思議な気持ちになった。」と聞かされ、それを確かめるために作業をすると、「すごく気持ちが良い」と感じたという内容の教材を通して考えました。



【4年1組】 道徳科 『雨のバス停留場で』 規則の尊重

強い雨が降る中、バス停の近くのたばこ屋さんの軒下でバスを待つ人が雨宿りをしており、主人公と母親も軒下に入りました。バスが来たのを見て、主人公がわれ先にと停留場の先頭に並びます。バスに乗ろうとした主人公を母親が引っ張って、列の後ろに連れもどすのですが、そのために席に座ることができませんでした。母親は何だかいつもとは違う厳しい様子の中で、主人公が自分のしたことを考え始めるという内容の教材を通して考えました。



【ひまわり学級】 自立活動 『こんなときってどうするの?』

「友だちと仲良くなるためには、どうしたら良いか」についての解決法を考えるもので、「自分の思いを伝える」と「相手の思いを考える」ことを中心に、「友だちと仲良くしたい」時の絵を見て考えたことや、自分独自の方法について、発表しました。



【6年1組】 道徳科 『古きよき心』 伝統と文化の尊重、国や国土を愛する態度

外国人の目から見た日本の良さや日本人らしさについての内容の教材を通して、外国の文化と日本の文化の違いを考えたり、日本の良さやこれからも残していきたい日本人らしさを考えたりしました。わたしたちが受け継ぐ「日本人の心」には、どのようなものがあるのでしょうか。



【6年2組】 道徳科 『ブランコ乗りとピエロ』 相互理解・寛容

サーカスで、自分だけ自立とうとした相手に対して、本当は自分も目立ちたかった主人公が怒らずに、相手の演技を認め歩み寄ったことで、二人とも「自分がスターだ」という気持ちを捨て、打ち解けることができたという内容の教材を通して、自分と意見の違う相手と話す時に、何を大切にするかについて考えました。



今回、タブレット端末を使った授業がありました。教師から送られた資料を受信し、自分の考えを書き込むと、全員の考えがスクリーンに映し出されます。これまではネームプレートを黒板に貼り付けに行ったものですが、そんなことをしなくても一瞬でできました。